

上越南地区商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）
イ 対象企業 同地区内商工会員
ウ 調査企業数 60 事業所（うち小規模事業者数 58 事業所）
エ 回答企業数 60 事業所
（回答率 100.0%）

(2) 調査対象期間

令和5年 4月～令和5年 6月
（調査時点：令和5年7月1日）

(3) 調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	17	28.3%	17	28.3%
2 製造業	9	15.0%	9	15.0%
3 卸売業	4	6.7%	4	6.7%
4 小売業	14	23.3%	14	23.3%
5 飲食・宿泊業	8	13.3%	8	13.3%
6 サービス業その他	8	13.3%	8	13.3%
合計	60	100.0%	60	100.0%

	小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数	58	2	0	60
構成比	96.7%	3.3%	0.0%	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

今回の調査では前期比・前年同期比ともに売上DIは大幅に改善基調にあるものの、物価高や光熱費の高騰で先行き不安感は拭えない。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類」に移行し経済活動が正常化しつつあることを受け、全体の景気が回復したとみる事業所が多かったことや、物価の上昇ペースが緩やかになることで収益環境が改善したことなどから、景況感の改善が進んだとみられる。但し、相次ぐ原材料価格の高騰に対し、製造業・卸売業・飲食業・サービス業の販売転嫁の交渉が思うに進まぬこともあり、先行きの景況に対し懸念を示す回答が多く見られた。

【売上高】

売上DI値については、前年同期比（R4.4月～6月）で+20.0ポイント増加し、さらに前期比（R5.1月～3月）では+58.4ポイント増加と大幅に改善している。しかし、今後の見通し（R5.7月～9月）においては△5.0ポイント減少とはなっているが、前年同時期調査と比較すると改善した数値となっており、売上高については回復基調が続くと予想されている事業所が見受けられる。

前年同期比

増加	不変	減少
19	15	26

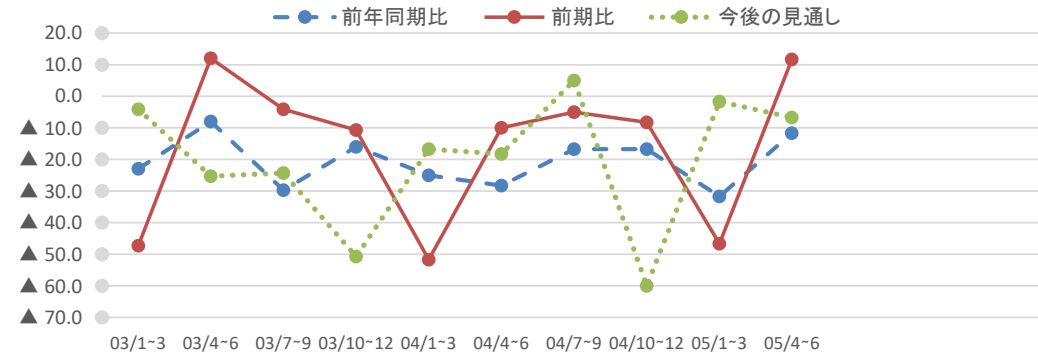
前期比

増加	不変	減少
23	21	16

今後の見通し

増加	不変	減少
12	32	16

売上DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6			
前年同期比	▲ 23.0	▲ 8.0	▲ 29.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 28.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 31.7	▲ 11.7			
前期比	▲ 47.3	12.0	▲ 4.1	▲ 10.7	▲ 51.7	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 8.3	▲ 46.7	11.7			
今後の見通し	▲ 4.1	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 50.7	▲ 16.7	▲ 18.3	5.0	▲ 60.0	▲ 1.7	▲ 6.7			

【採算】

採算値については、前年同期比（R4.4月～6月）で+13.3ポイント増加し、前期比（R5.1月～3月）でも+41.6ポイントと共に増加となった。さらに、今後の見通し（R5.7月～9月）でも+5.0ポイント増加している。売上DI値と同じく前年同時期と比較すると、今後好転するとの回答した事業所数が増えてきている。

前年同期比

好転	不変	悪化
10	30	20

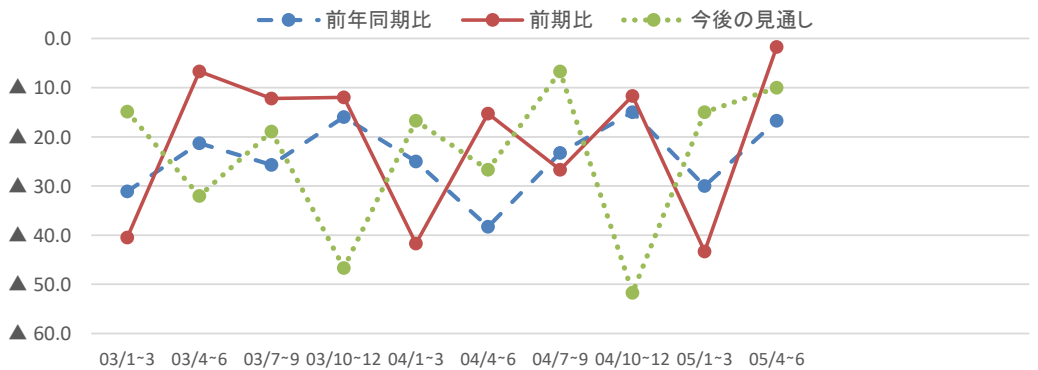
前期比

好転	不変	悪化
14	31	15

今後の見通し

好転	不変	悪化
9	36	15

採算DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6			
前年同期比	▲ 31.1	▲ 21.3	▲ 25.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 38.3	▲ 23.3	▲ 15.0	▲ 30.0	▲ 16.7			
前期比	▲ 40.5	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 12.0	▲ 41.7	▲ 15.3	▲ 26.7	▲ 11.7	▲ 43.3	▲ 1.7			
今後の見通し	▲ 14.9	▲ 32.0	▲ 18.9	▲ 46.7	▲ 16.7	▲ 26.7	▲ 6.7	▲ 51.7	▲ 15.0	▲ 10.0			

【仕入単価】

仕入単価については、前年同期比（R4.4月～6月）で+5.0ポイント増加、前期比（R5.1月～3月）も+5.0ポイント増加であった。しかし、今後の見通し（R5.7月～9月）では△5.0ポイント減少している。今後も資源価格の高騰と円安による原材料価格の上昇で仕入単価の上昇が懸念される。

前年同期比

上昇	不変	低下
48	12	0

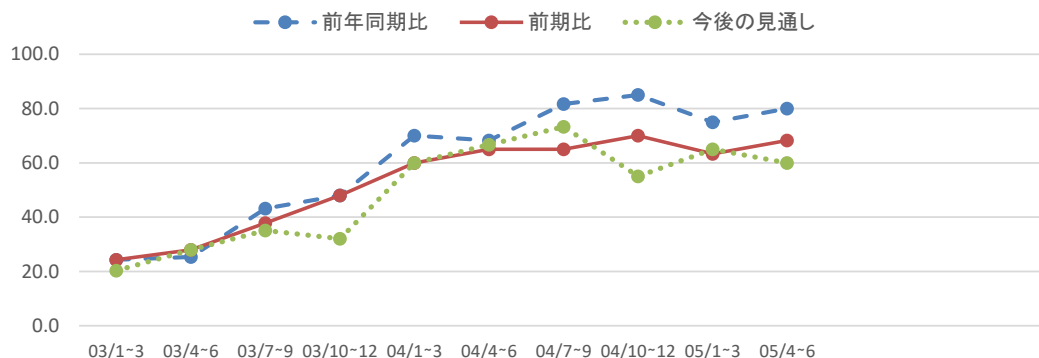
前期比

上昇	不変	低下
41	19	0

今後の見通し

上昇	不変	低下
37	22	1

仕入単価DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6			
前年同期比	24.3	25.3	43.2	48.0	70.0	68.3	81.7	85.0	75.0	80.0			
前期比	24.3	28.0	37.8	48.0	60.0	65.0	65.0	70.0	63.3	68.3			
今後の見通し	20.3	28.0	35.1	32.0	60.0	66.7	73.3	55.0	65.0	60.0			

【販売（客）単価】

販売単価については、前年同期比（R4.4月～6月）で△3.9ポイント減少したが、前期比（R5.1月～3月）は+6.6ポイント増加となった。しかし、今後の見通し（R5.7月～9月）では△10.0ポイントと大幅に減少を示している。なお、今回調査で卸売業・小売業及び飲食業においては全ての調査期間で不変もしくは低下と回答した事業所が目立った。

前年同期比

上昇	不変	低下
16	35	9

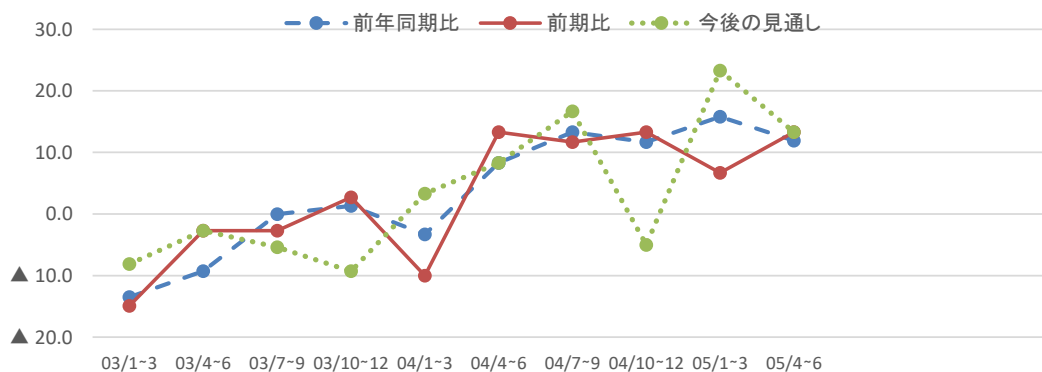
前期比

上昇	不変	低下
15	38	7

今後の見通し

上昇	不変	低下
12	44	4

販売（客）単価DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6			
前年同期比	▲ 13.5	▲ 9.3	0.0	1.3	▲ 3.3	8.3	13.3	11.7	15.8	11.9			
前期比	▲ 14.9	▲ 2.7	▲ 2.7	2.7	▲ 10.0	13.3	11.7	13.3	6.7	13.3			
今後の見通し	▲ 8.1	▲ 2.7	▲ 5.4	▲ 9.3	3.3	8.3	16.7	▲ 5.0	23.3	13.3			

【資金繰り】

資金繰りについては、前年同期比（R4.4月～6月）で+6.7ポイント増加、前期比（R5.1月～3月）では+21.7ポイントと共に増加となった。しかし、今後の見通し（R5.7月～9月）においては△1.7ポイント減少となった。昨年同時期の調査と比較すると大幅に上昇はしたが、今後の見通しでは殆どの事業所が不変・悪化との回答であった。

前年同期比

好転	不変	悪化
6	42	12

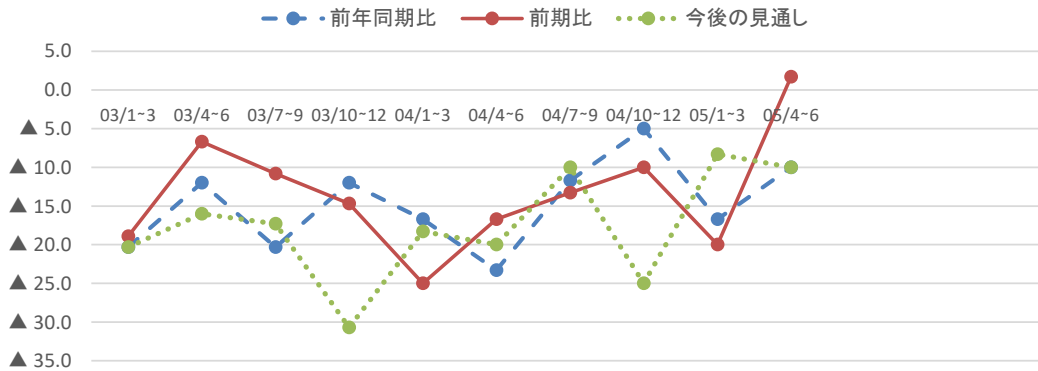
前期比

好転	不変	悪化
7	47	6

今後の見通し

好転	不変	悪化
5	44	11

資金繰りDIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6			
前年同期比	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 16.7	▲ 23.3	▲ 11.7	▲ 5.0	▲ 16.7	▲ 10.0			
前期比	▲ 18.9	▲ 6.7	▲ 10.8	▲ 14.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 1.7			
今後の見通し	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 17.3	▲ 30.7	▲ 18.3	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 8.3	▲ 10.0			

【雇用動向】

雇用動向については、前年同期比（R4.4月～6月）で△8.4ポイント減少し、前期比（R5.1月～3月）では△1.6ポイント減少となった。さらに、今後の見通し（R5.7月～9月）でも△3.3ポイント減少と全てにおいて前回調査より悪化となった。また、今回調査で9割以上の事業所が不変と回答している。

前年同期比

増加	不変	減少
1	54	5

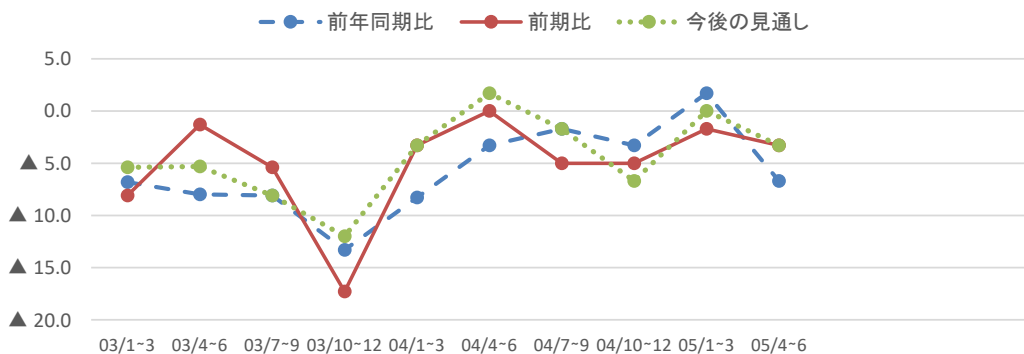
前期比

増加	不変	減少
1	56	3

今後の見通し

増加	不変	減少
1	56	3

雇用動向DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6			
前年同期比	▲ 6.8	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 6.7			
前期比	▲ 8.1	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 17.3	▲ 3.3	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 1.7	▲ 3.3			
今後の見通し	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 12.0	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 6.7	0.0	▲ 3.3			

【景況判断】

景況判断については、前年同期比（R4.4月～6月）で+8.3ポイント増加、前期比（R5.1月～3月）でも+18.4ポイントと共に増加した。さらに、今後の見通し（R5.7月～9月）でも+1.6ポイント増加し改善傾向にある結果を示した。しかし、前年同時期調査から比較すると全体的に回復基調であるが横ばいを推移している。

前年同期比

好転	不変	悪化
7	33	20

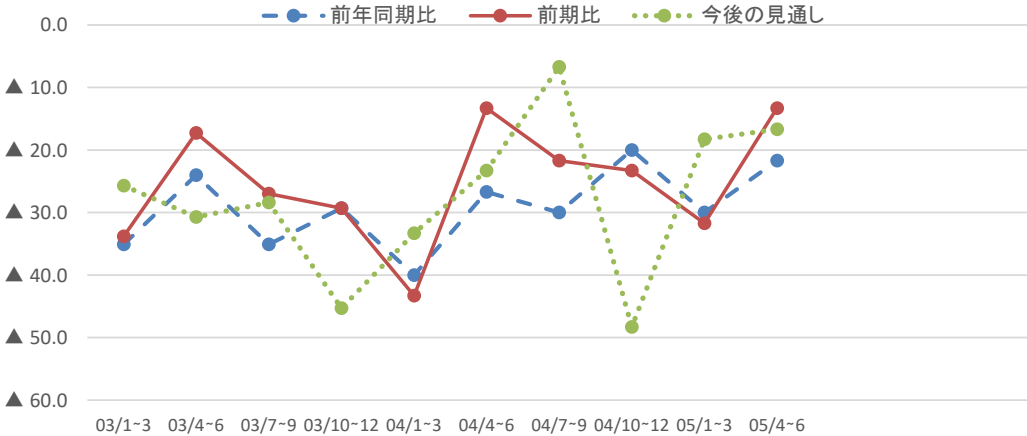
前期比

好転	不変	悪化
7	38	15

今後の見通し

好転	不変	悪化
6	38	16

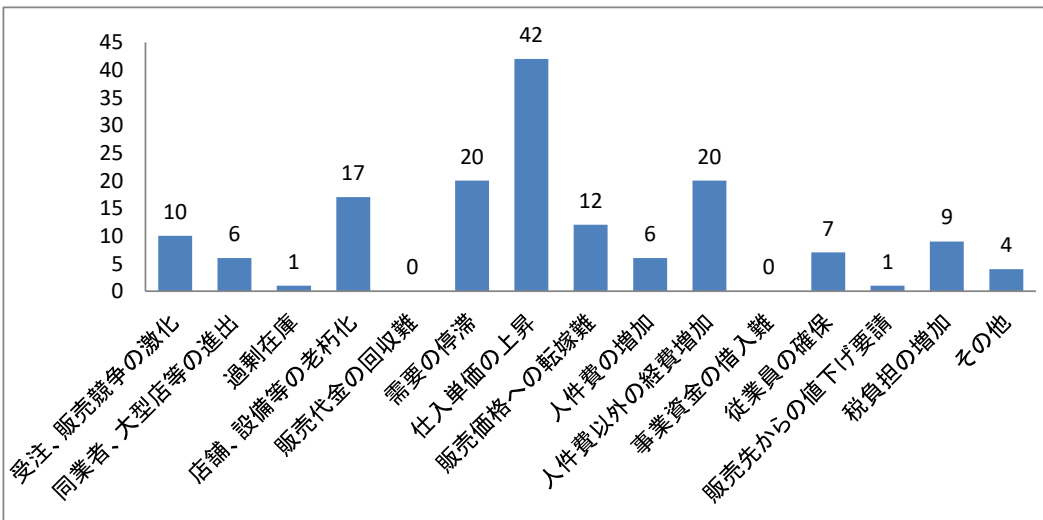
景況判断DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6			
前年同期比	▲ 35.1	▲ 24.0	▲ 35.1	▲ 29.3	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 21.7			
前期比	▲ 33.8	▲ 17.3	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 43.3	▲ 13.3	▲ 21.7	▲ 23.3	▲ 31.7	▲ 13.3			
今後の見通し	▲ 25.7	▲ 30.7	▲ 28.4	▲ 45.3	▲ 33.3	▲ 23.3	▲ 6.7	▲ 48.3	▲ 18.3	▲ 16.7			

【経営上の問題点】

経営上の問題点について、今回の調査も前回調査と同じく「仕入単価の上昇」が最も多く、次いで「需要の停滞」「人件費以外の経費増加」が問題点として挙げられていた。特に「仕入単価の上昇」については、卸売業の全事業所、製造業及び飲食・宿泊業においても約9割の事業所が回答している。さらに、飲食・宿泊業については7割以上の事業所が「人件費以外の経費増加」を問題点として挙げているのが目立つ。また、現在の経営環境下において貴社が感じておられることとして、設備老朽化による入替の資金繰りや従業員の高齢化、物価高騰などの意見が多く挙げられた。



3. 産業別景況概要

(1) 建設業

建設業においては、売上高が前期比より好転したと約6割の事業所が回答したが、今後の見通しでは不変もしくは悪化と回答した事業所が多く、今後の経済状況は厳しいと見受けられる。経営上の問題点に関しては、前回調査と同じく材料価格等の高騰による「仕入単価の上昇」との回答が最も多く、次に「人件費以外の経費増加」となっている。これについては燃料費の高騰や設備の老朽化による修理代等で利益を圧迫させていると考えられる。来期の景況について調査企業の約4割が悪化するのではないかと不安視する回答が目立つ。

(2) 製造業

製造業の売上及び採算性については、調査した約9割の事業所が前年同期比及び前期比で悪化及び不変との回答であった。但し、今後の見通しにおいては4割弱の事業所が好転するとの回答が目立った。また、仕入単価においては前年同期比・前期比・今後の見通しで上昇すると殆どの事業所が回答した。経営上の問題点としては、「税負担の増加」と回答した事業所が多く挙げられていた。

(3) 卸・小売業

卸売業においては売上・採算性ともに全事業所が前期比及び今後の見通しで不変・減少との回答であった。また、小売業については、前年同期比・前期比で半数の事業所が売上が減少したとの回答であり、今後も売上増加が見込めないと不安を抱えている事業所が多いと思われる。経営上の問題点としては卸売業・小売業ともに「仕入単価の上昇」を挙げていた事業所が多かった。さらに、卸売業においては「販売価格の転嫁難」、小売業においては「人件費以外の経費増加」を問題点としている。

(4) サービス業（飲食・宿泊を含む）その他

飲食業においては、新型コロナの位置づけが感染症法が5類へと移行し、コロナによる行動制限がなくなったことで、売上・採算性は約5割の事業所が前年同期比から前期比で好転との回答が目立った。しかし、材料費や光熱費の高騰など人件費以外の経費増加が著しいうえに、販売価格への転嫁難もあり利益の確保が難しいとの意見もあった。サービス業においては、前年同期比から今後の見通しまで不変もしくは悪化との回答が多く見られた。また、飲食・宿泊業・サービス業で最も多い経営上の問題点に挙げられていたのは「仕入価格の上昇」であり、飲食業においては「人件費以外の経費増加」、サービス業においては「販売価格への転嫁難」との回答も多く見られた。

※ 今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

【 建設業 】

- ・元請の受注減少。
- ・事業主の高齢化。
- ・車両などの老朽化で故障等が多い。買い替えの時期がきており資金繰りが大変かと思う。
- ・個人消費はあまりよくない。物価高騰が左右している。
- ・従業員の高齢化と深刻な人手不足。
- ・人材の確保だけではなく定着させることも難しい。

【 製造業 】

- ・従業員の高齢化による生産性の悪化。
- ・最低賃金の上昇。
- ・仕入単価は高騰しているが販売価格に全く転嫁できず、利益率の低下が深刻である。

【 小売業 】

- ・顧客の高齢化。
- ・設備老朽化による修理等が資金繰りを更に厳しいものになっている。

【 サービス業（飲食・宿泊を含む）その他 】

- ・仕入単価、経費等の物価高騰により販売単価値上げを行った。
- ・内装のリフォームを考えている。
- ・人口減少による売上減少。
- ・人口減少と顧客の高齢化。